

# HyperSECURE 暗号化DRMファイルチェックプログラム ユーザーズ・ガイド

© 2008 HyperSECURE,Inc., All Rights Reserved.

この内容は予告なしに変更される場合がございますので予めご了承ください。  
著作権法を遵守することはあくまでもユーザーの責任であり、(株)ハイパーセキュアの書面許可なしに修正、コピー、保存、流通などを禁止します。また、この説明書に記載される当社製品のトレードマーク、著作権または知的所有権に対する権利は、(株)ハイパーセキュアが保有します。

Ver.1.0.0.0 2008/02/26

---

## 改版履歴

日付	バージョン	変更内容
2008/02/26	Ver.1.0.0.0	初版

# 目次

1 暗号化DRMファイルチェック プログラムとは.....	1
2 ご利用になる前に .....	1
2.1 動作環境.....	1
3.ご利用方法 .....	2
3.1 準備 .....	2
3.1 デスクトップでの操作(ファイル指定).....	2
3.2 コマンド実行(フォルダ一括指定 ファイル出力モード) .....	3
4.補足事項.....	4

---

# 1 暗号化DRMファイルチェック プログラムとは

(株)ハイパーセキュアが開発元である、HG/PscanSECURE、HG/DocumentSAFER-Jは、米国国立標準技術研究所 (NIST)が選定した暗号化アルゴリズムAES (Rijndael)を用いて、ファイルを暗号化し、暗号化したままアプリケーションでファイルを開き、設定された操作を制限する、「暗号化DRM (Digital Right Management)」製品です。

- 1) 暗号化ファイルのファイル拡張子は、元ファイルのファイル拡張子そのまま操作が可能です。
- 2) 暗号化ファイルに設定された情報により、ファイル操作を制限し、ファイル情報の漏洩を防止します。
- 3) 暗号化ファイルを開いて操作するためには、クライアントプログラムのインストールとライセンスの取得が必要です。

このため、クライアントプログラムのインストールされていないPCでは、暗号化ファイルであるか否かの判定を行う場合に、暗号化DRMファイル チェックプログラム「HsEncCheker」を無償でご提供いたします。

## 2 ご利用になる前に

### 2.1 動作環境

本プログラムが動作する環境は以下の通りです。

項目	内容
OS	Microsoft® Windows® 2000 Server (SP4) Microsoft® Windows Server™ 2003 (Enterprise Edition SP1、SP2) Microsoft® Windows® 2000 Professional (SP4) Microsoft® Windows® XP Professional (SP2) Microsoft® Windows® Vista Enterprise, Ultimate, Business, Home Premium, Home Basic ※いずれも日本語環境、32ビット版のみ
CPU	Intel® Pentium® III 500MHz 以上推奨 (Vistaの場合: Intel® Celenon® D 2.8GHz 以上推奨)
メモリ	512MB以上推奨 (Vistaの場合: 2GB以上推奨)

※ 対応OS上での動作環境は、各OSのメーカ推奨環境以上になります。

## 3.ご利用方法

暗号化DRMファイルチェックプログラムは、

- 1) デスクトップ上でのファイルドラッグ & ドロップによる操作
- 2) コマンド実行による、フォルダ内一括指定による操作

の2通りご利用方法があります。

### 3.1 準備

配布ZIP形式圧縮ファイルをダブルクリックして、プログラムファイルをコピーします。  
HsEncChecker.zipファイルをデスクトップに保存し、ダブルクリックしてください。

表示されたフォルダ内に、HsEncChecker（拡張子:exe）というファイルが表示されますので、このファイルをデスクトップなどにコピーしてください。

※ここではWindowXP、Vistaの機能を利用した圧縮解凍方法をご紹介しました。  
別途圧縮解凍ソフトをインストールされている方は、その操作方法にしたがってください。

※Windows2000では、ファイル・ダブルクリックでは解凍できませんので、  
別途ZIPファイル解凍プログラムをダウンロードしてください。  
「Vector」「窓の杜」などでダウンロードできます。

### 3.1 デスクトップでの操作(ファイル指定)

- 1) 3.1準備で解凍したチェックプログラムをデスクトップ上にコピーし、そのアイコンに、調べたいファイルをドラッグ&ドロップすると、チェックした結果がダイアログで表示されます。

図 1 チェックプログラムのアイコン



図 2 暗号化DRMファイルの場合

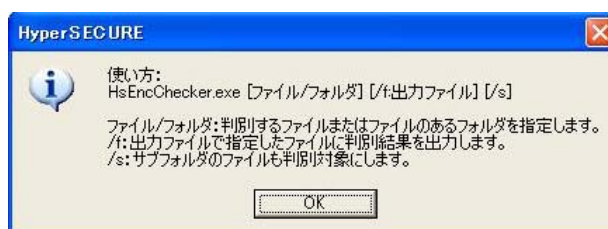


図 3 通常のファイルの場合(暗号化DRMファイルではない)



図 4 複数のファイルをドラック&ドロップした場合

注) デスクトップでは、チェックするプログラムは1度に1ファイルのみです。



## 3.2 コマンド実行(フォルダ一括指定 ファイル出力モード)

- 1) 2.1準備で解凍したチェックプログラムを、実行したいフォルダにコピーしてください。
- 2) [スタートメニュー]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を実行し、チェックプログラムを入れたフォルダをカレントディレクトリにします。
- 3) 以下のコマンド実行形式に従い、チェックプログラムを実行します。

### 【コマンド実行形式】

HsEncChecker.exe [ファイル/フォルダ] [/f:出力ファイル] [/s]

ファイル/フォルダ: 判別するファイルまたはファイルのあるフォルダを指定します。  
ファイル出力モードの場合はワイルドカードの指定が可能です。

/f:出力ファイル : 出力ファイルで指定したファイルに判別結果を出力します。

/s : サブフォルダのファイルも判別対象にします。

**【動作説明】**

ファイル出力モードでは判別結果をCSV形式のファイルに出力します。  
コマンドプロンプトから大量のファイルを判別したい時に使うモードです。

1) 出力ファイルの形式 (CSV形式)

結果コード,結果メッセージ,ファイルパス

2) 結果コードの意味

0: HyperSECURE製品の暗号化ファイルでないファイル

1: HyperSECURE製品の暗号化ファイル

## 4.補足事項

Microsoft, MS, Windows, Windows Media, Office, Excel, PowerPoint,は米国、日本およびその他の国でのMicrosoft Corporationの登録商標又は商標です。

会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。